

LIXIL のグローバルな衛生課題の解決における インパクト算定・報告ガイドライン

概要：

株式会社 LIXIL（以下 LIXIL）は、当社の Purpose（存在意義）である「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」を目指す上で、グローバルな衛生課題の解決を「インパクト戦略」の3つの優先取り組み分野のひとつとして位置付け、取り組みを進めてきました。手頃な価格帯の革新的なトイレや手洗い設備を提供することにより、[2025年までに1億人の人びとの衛生環境の改善を通じて生活の質の向上に貢献することを目指しています。](#)

この目標の達成に向けて、主に一般家庭へのトイレの普及に注力していたため、従来は当社の活動を通じたインパクト（良い影響）の算定に関しては、世帯人数に基づき、衛生環境が改善された人数を算出するというシンプルな手法を採用していました。しかしながら、当社の製品ポートフォリオや活動範囲が拡大する中、水と衛生（WASH：Water、Sanitation、Hygiene）の分野における効果測定手法も進化したことをふまえ、当社の活動を通じたインパクトをより正確に反映するため、算定手法の見直しを行っています。

当ガイドラインでは、LIXIL が目標達成に向けた進捗を継続的に報告していくにあたり、当社の意図とインパクトの算定手法をわかりやすく説明しています。



背景：

LIXIL では、2025 年までに 1 億人の人びとの衛生環境の改善を通じて生活の質の向上に貢献するという、野心的な目標を掲げ、活動を強化してきました。この目標を達成するためには、革新的なビジネスモデルを大規模に展開する必要がありますが、こうした取り組みは、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）の目標 6「安全な水とトイレを世界中に」の実現に向けて、インパクトを最大化することにつながります。

インパクトを測定することは、透明性を確保し、1 億人という目標に向けた進捗を追跡するために必要なステップとなります。LIXIL では、インパクトの測定にはシンプルな手法を採用し、生み出した成果をわかりやすく示すことを重視しています。これは、衛生市場の構築に向けた活動に、十分なリソースを投入することができるよう、自社で行う複雑な検証作業を極力簡素化することにもつながります。

LIXIL は SATO ブランドを通じて、世界中で革新的かつ手頃な価格帯のトイレや手洗いソリューションを提供していますが、この活動は世界の衛生環境の改善に向けた当社のインパクト創出において、大きな推進力となっています。しかし、SATO のビジネスモデルの特性上、LIXIL が直接的に把握できる製品の最終購入者に関する情報は限られており、エンドユーザーに対するインパクトの検証が限定的となります。そのため、LIXIL ではインパクトの測定には、1 台あたりの使用者数を想定した単純な乗数を販売数量にかけることによって算出する手法を採用してきました。

また、当初は、初代モデルとなる SATO Pan のみを主力製品として展開しており、ごく一部の例外（難民キャンプへの設置など）を除き、一般家庭で使用されていました。当時の世界の平均世帯人数は 5 人と推定されており、インパクトは以下の計算式で算出していました。

従来のインパクト評価手法 = SATO 製品の出荷台数 x 5 人

2020 年以降には、SATO ブランドは製品ラインナップを拡大し、さまざまな場所で使用できるトイレや手洗いソリューションを拡充してきました。製品ラインナップには、複数モデルのトイレ（Pan 型、Stool 型）、配管システム（オフセット構造用の I-Trap や V-Trap システムなど）、アダプターや足置きなどのアクセサリ類が含まれます。この広範な製品群を展開する中で、以下の 2 つの大きな課題に対応するため、より複雑な算定手法の必要性が明らかとなりました。

1. **二重カウントのリスク：**トイレ本体と配管システムの両方を提供しているため、例えば、SATO Pan と I-Trap システムを組み合わせて設置するケースもあります。この場合、単純に出荷数量に基づく計算だけでは、一つの設置場所で複数製品が使用されているため、インパクトを過大評価する可能性を排除できません。
2. **使用場所の多様化による過小評価のリスク：**SATO の活動範囲と製品ポートフォリオの拡大により、学校や医療施設など、一般家庭以外で製品が使用されるケースが増加しています。このような場合、各製品を使用する人数の平均は、一般家庭での使用よりも多くなり、結果としてインパクトも大きくなります。

LIXIL 社内における出荷データ管理の精度も高まってきたことから、グローバルパートナーと連携することで製品の設置に関する直接的なデータを可能な限り収集・分析する方法を検討しました。これにより、二重カウントと過小評価というリスクに対応することができ、パートナーからの最新の報告を基に透明性を確保しながら、確実かつ一貫性のある方法でインパクトを算出し、進捗を示すことができるプロセスを確立しました。

重要な点として、LIXIL では「受益者」という観点でインパクトを測定するのではなく、「リーチした人」または「消費者」に焦点を当て、進捗を報告しています。これは、水と衛生の課題に対して、市場に基づくアプローチで取り組むという当社の明確な方針を反映したものであり、消費者が常に LIXIL 製品を手に入れることができるような、持続可能なビジネスを築くことを目指しています。特に、SATO が新たに衛生市場を構築したことによって、消費者は初めて、自らの意志で製品を選び、より良い衛生環境を手に入れることができるようになります。SATO は、さまざまな環境、文化、地域におけるベストプラクティスについてパートナーからの助言を受けながら、連携して活動を展開しています。

インパクトの新しい算出方法：

LIXIL は、グローバルな衛生課題の解決に向けた取り組みによって生み出されたインパクトと、1 億人の衛生環境の改善という目標に対する進捗を測る際に、SATO 製品の出荷量に基づくアプローチを採用しています。SATO のトイレおよび手洗い設備の出荷量を把握し、使用状況に応じた適切な乗数を用いて、何人の衛生環境を改善することができたかを算出します。

LIXIL では現在、以下の 4 ステップのプロセスに沿って評価を行っています。

- 1. 製品が最終的に使用される国へ出荷された台数を確認し、二重カウントや過剰カウントのリスクを排除できるよう、インパクトの算定に使用する台数の調整を行います。**
トイレ 1 台を設置する際に、複数の構成部品が取り付けられることがあります。出荷数からインパクトを算出する際は、a) 構成部品（コレクションボックス等）を除外し、b) トイレと部品と一緒に出荷されるケース（V-Trap システムと Pan 型トイレがセットにされる場合等）の調整を行います。従って、毎年報告している年間出荷台数の総数は、インパクトを算出する際に使用される台数よりも多くなります。
- 2. パートナーからの情報に基づき、使用される場所ごとに上記の台数を整理し、適切な乗数を用いて、正確なインパクトを算出します。**
 - **一般家庭：**製品が最終的にどこで使用されているかというデータを自社内でさらに精緻に追跡することができるようになったため、使用地域の[国連人口報告](#)¹に基づく平均世帯人数を使用してインパクトを算出します。世帯人数のデータが利

¹ UN Population: Household Size and Composition (<https://www.un.org/development/desa/pd/data/household-size-and-composition>)

用できない場合や使用地域が不明な場合は、トイレおよび手洗いステーションの台数に対して、SATO のターゲット市場全体の平均世帯人数である 6 人を乗数として使用します。

- **学校**：トイレ 1 台に対する使用人数は国によって大きく異なります。国家レベルのガイドラインでは、生徒 20 人～ 50 人以上に対してトイレ 1 台とされていますが、[2020 年の JMP 調査²](#)では 18 人から 186 人までの幅がありました。学校のトイレは、生徒が入学して卒業するまで、異なるグループが入れ替わりながら使用し、地域住民や教職員も利用します。このようなばらつきに対応し、トイレまたは手洗いステーションの全使用期間にわたる総利用数を反映するため、100 人という乗数を使用します。学校へのトイレの設置は、現地の設備導入パートナーが関与することが多く、正確な利用人数については当該パートナーによるデータを優先して使用します。（ステップ 3 参照）
- **医療施設**：医療施設における平均利用者数は、国、施設の種類、地理的条件によって大きく異なり、効果的な感染予防と管理の観点から設置するトイレの推奨数は施設ごとまたは病床数ごとに異なります([2022 年 8 月 JMP 調査³](#))。ステップ 3 で示す通り、実際の利用者数に関するデータが入手できる場合には、そのデータを優先します。そのようなデータが特定できない場合には、スタッフ、外来・入院患者の収容能力、地域社会へのリーチ度を反映するため、トイレあるいは手洗いステーション 1 台あたり 250 人の乗数を使用します。
- **家庭向け共有トイレ**：例えば、コミュニティ内の複数の世帯が使用するトイレの場合はユニセフ（国際連合児童基金）のアプローチに基づき、トイレ 1 台あたり 20 人（約 4 世帯と推定）と想定して計算します([UNICEF⁴](#))。
- **コミュニティ向け公共トイレ**：例えば、コミュニティ全体が使用し、公共の場に設置されているトイレなどの利用者数は設置環境や日々の交通量によって大きく異なります。利用者数に関する実際のデータがない場合、トイレ 1 台あたり平均 100 人が使用すると想定します（家庭向け共有トイレより多く、学校と同レベル）。
※注：現時点では、コミュニティ向け公共トイレとして SATO の製品が使用されることは一般的ではありません。
- **難民キャンプや国内避難民キャンプ**：緊急事態下におけるトイレへのアクセスに関する目標は、トイレ 1 台につき 50 人未満とされていますが([UNHCR⁵](#))、実際の比率はそれよりもはるかに高いことがほとんどです⁶。具体的な影響範囲を特定することができるデータがない場合、トイレ 1 台あたり 150 人と見積もりま

² JMP 2020: Progress on Drinking Water, Sanitation, and Hygiene in Schools, page 32
(<https://washdata.org/sites/default/files/2020-09/JMP-2020-WASH-schools.pdf>)

³ JMP: Progress on WASH in health care facilities 2000–2021: Special focus on WASH and infection prevention and control (IPC)
(<https://washdata.org/reports/jmp-2022-wash-hcf>)

⁴ UNICEF: Core Commitments for Children (<https://www.corecommitments.unicef.org/ccc-2-3-7>)

⁵ UNHCR Emergency Handbook: WASH in Emergencies (<https://emergency.unhcr.org/emergency-assistance/water-sanitation-and-hygiene/wash-emergencies>)

⁶ Example from Bangladesh: Exploring waste and sanitation-borne hazards in Rohingya refugee camps in Bangladesh. Chowdhury et al; Journal of Water, Sanitation and Hygiene for Development 1 August 2022
(<https://iwaponline.com/washdev/article/12/8/587/89424/Exploring-waste-and-sanitation-borne-hazards-in>)

す。これは、a) 緊急事態の初期に SATO が簡易トイレを提供し、最終的には共有トイレや家庭用トイレが普及すること、b) SATO の製品は耐久性があるため、設置後に、難民や国内避難民としてさまざまな利用者が流入することで、長期的に利用者数が増えることを反映しています。

- **その他（詳細不明）**：最終的にどのように使用されているかが不明な場合、最も保守的な数値を採用し、一般家庭で使用する場合の乗数を適用します。

3. 設備導入パートナーから報告された実際の利用者数に基づいて、調整を行います。

特に学校や医療施設、人道的支援として利用される場合など、インパクトが大きくなる可能性のある環境下では、パートナーが収集・検証した正確な影響範囲とインパクトを示すデータを優先し、上記の標準化された乗数の代わりに使用します。

4. 損失の可能性を考慮した修正を行います。

最終的なインパクトの算出には、インパクト推定値から5%の下方修正を行います。これは、二重にカウントされた可能性のあるケースや、サプライチェーンの変動性、製品の損傷の可能性、報告された数値に反映しきれていないあらゆる要因を勘案し、保守的な見積もりを行うことを意図したものです。

インパクト進捗報告の実施と調整

LIXIL は毎年、衛生環境の改善に関するインパクトとして設定している目標に対して、進捗状況を報告しています。この度、データの改善と調整を行うため、以下のステップを通じて、インパクトの見直しを行いました。

2020年3月期以前のデータ（2013年3月期～2019年3月期）については、一般家庭での利用が多いため、出荷数に世帯人数5人を乗じることで、インパクトの算出を行ってまいりました。この期間のインパクト算定の精度を向上させるため、パートナーから報告された一般家庭以外での使用を考慮し、数量の調整を行いました。また、最終出荷先での平均世帯人数または用途に応じて、インパクト算出時の乗数を見直しました。その結果、2019年3月期までの累積インパクトとして報告していた1,200万人は、約2,100万人となりました。

	FYE2013 - 2016	FYE2017	FYE2018	FYE2019
総出荷量	1,141,166	279,017	446,006	811,633
累積出荷量	1,141,166	1,420,183	1,866,189	2,677,822
累積インパクト報告値	5,705,830	7,100,915	9,330,945	12,000,000

インパクト算出のための数量補正：二重計上・同梱品の除外 [単位：台]				
Iトラップシステム、Vトラップシステムの二重計上（SATOパン、スツールと一緒に販売されている場合は除外）			400	40,080
インパクト算出のための調整後数量	1,141,166	279,017	445,606	771,553
インパクト算出のための数量調整：製品が使用されている場所 [単位：台]				
難民キャンプ（寄贈）	3,600		29,628	8,315
医療施設（寄贈）				4,298
学校（寄贈）	1,000			13,072
総量：一般家庭	1,136,566	279,017	415,978	745,868
一般家庭（寄贈）	643,755		19,534	131,415
一般家庭（販売）	492,811	279,017	396,444	614,453
インパクト補正值 [単位：リーチ数]				
難民キャンプ（寄贈）	540,000		4,444,200	1,247,250
医療施設（寄贈）				1,074,500
学校（寄贈）	100,000			1,307,200
総量：一般家庭	5,973,861	1,413,717	2,144,724	3,815,421
一般家庭（寄贈）	3,200,983		96,440	694,439
一般家庭（販売）	2,772,878	1,413,717	2,048,284	3,120,982
補正後のインパクト合計値	6,613,861	1,413,717	6,588,924	7,444,371
補正後のインパクト累積値	6,613,861	8,027,578	14,616,502	22,060,873
5%損失	-330,693	-70,686	-329,446	-372,219
損失調整後のインパクト合計値	6,283,168	1,343,031	6,259,478	7,072,152
損失調整後のインパクト累積値	6,283,168	7,626,199	13,885,676	20,957,829

2020年3月期～2024年3月期のデータでは、SATOの製品ポートフォリオが拡大し、異なる設置方法に対応したトイレ（ピット式トイレやオフセット式トイレなど）や、手洗いステーションも追加されています。このポートフォリオ拡大により、複数の構成部品を二重に集計するリスクが増加しました。しかし、社内のデータ検証やパートナーからの報告内容の改善により、製品ごとの数量や、同梱される製品やその最終的な用途を捕捉することができるようになりました。

その結果、二重計上の可能性を考慮して、インパクトの値を下方修正したものの、製品が実際

に使用されている場所についての報告がより正確になったため、これを反映すると全体的なインパクトは増加しました。また、手法の改善とあわせ、5%の損失調整が適用されることとなりました。

以下にその調整内容の概要を示します。

	FYE2020	FYE2021	FYE2022	FYE2023	FYE2024
総出荷量	1,167,583	1,253,025	1,374,839	1,014,973	1,122,571
累積出荷量	3,845,405	5,098,430	6,473,269	7,488,242	8,610,813
累積インパクト報告値	18,500,000	25,000,000	35,000,000	45,000,000	-
インパクト算出のための数量調整：二重計上・同梱品の除外 [単位：台]					
Iトラップシステム、Vトラップシステムの二重計上 (SATO Pan、Stoolと一緒に販売されている場合は除外)	-51,024	-28,132	0	-33,985	-31,816
その他の構成部品（フットレスト、アダプター、コレクションボックス）	-138,725	-109,723	-45,313	-72,782	-36,187
インパクト算出のための調整後数量	977,834	1,115,170	1,329,526	908,207	1,054,568
インパクト算出のための数量調整：製品が使用されている場所 [単位：台]					
難民キャンプ（寄贈）		2,421	2,300		
医療施設（寄贈）		522			
学校（寄贈）	64,000	5,772	90,000		22,260
総量：一般家庭	861,374	1,268,310	1,037,678	904,942	1,031,658
一般家庭（寄贈）	131,025	425,583	238,781	202,798	297,187
一般家庭（販売）	730,349	842,727	798,897	702,144	734,471
インパクト補正值 [単位：リーチ数]					
難民キャンプ（寄贈）		121,050	345,000		
医療施設（寄贈）		1,305,000			
学校（寄贈）	6,400,000	554,650	9,000,000		2,226,000
総量：一般家庭	4,690,912	8,486,796	5,716,200	4,917,140	5,677,953
一般家庭（寄贈）	690,394	3,942,064	1,409,162	1,162,100	1,706,202
一般家庭（販売）	4,000,518	4,544,732	4,307,038	3,755,040	3,971,751

	FYE2020	FYE2021	FYE2022	FYE2023	FYE2024
総出荷量	1,167,583	1,253,025	1,374,839	1,014,973	1,122,571
累積出荷量	3,845,405	5,098,430	6,473,269	7,488,242	8,610,813
累積インパクト報告値	18,500,000	25,000,000	35,000,000	45,000,000	–
インパクト算出のための数量調整：二重計上・同梱品の除外 [単位：台]					
Iトラップシステム、Vトラップシステムの二重計上 (SATO Pan、Stoolと一緒に販売されている場合は除外)	-51,024	-28,132	0	-33,985	-31,816
その他の構成部品（フットレスト、アダプター、コレクションボックス）	-138,725	-109,723	-45,313	-72,782	-36,187
インパクト算出のための調整後数量	977,834	1,115,170	1,329,526	908,207	1,054,568
インパクト算出のための数量調整：製品が使用されている場所 [単位：台]					
難民キャンプ（寄贈）		2,421	2,300		
医療施設（寄贈）		522			
学校（寄贈）	64,000	5,772	90,000		22,260
総量：一般家庭	861,374	1,268,310	1,037,678	904,942	1,031,658
一般家庭（寄贈）	131,025	425,583	238,781	202,798	297,187
一般家庭（販売）	730,349	842,727	798,897	702,144	734,471
インパクト補正值 [単位：リーチ数]					
難民キャンプ（寄贈）		121,050	345,000		
補正後のインパクト合計値	11,090,912	10,467,496	15,061,200	4,917,140	7,903,953
補正後のインパクト累積値	33,151,785	43,619,281	58,680,481	63,597,622	71,501,574
5%損失	-554,546	-523,375	-753,060	-245,857	-395,198
損失調整後のインパクト合計値	10,536,367	9,944,121	14,308,140	4,671,283	7,508,755
損失調整後のインパクト累積値	31,494,196	41,438,317	55,746,457	60,417,740	67,926,496

注：データ追跡方法の変更により、2020年3月期～2024年3月期の年間総量は、二重計上を除外して調整した量と、製品が使用されている場所に応じた配分量によって誤差が生じる可能性があります。データの精度は今後も継続して改善させていただきます。

最新のインパクト評価手法を取り入れ、パートナーから報告された資料と社内の資料を参照した結果、LIXILは2024年度3月期（2024年3月31日まで）までに約6,800万人の衛生環境を改善したことを確認しました。

継続的な報告とデータ検証：

LIXILは、2025年末までに1億人の衛生環境を改善するという目標を掲げています。2026年3月期（2026年3月31日まで）に、これまでの期間における投資効果を反映させ、目標に対する進捗状況を報告します。各会計年度の半期決算後、60日以内に数量に関するデータ、つまり最終的なインパクトとして衛生環境が改善された人数の推定値が報告されます。パートナーから報告された実績に更新があった場合のみ、直前の会計年度の情報を更新します。

間接的なインパクトについて：

LIXILは、SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」の実現に向けて、水と衛生の分野に幅広く携わってきました。SATOブランドの活動以外にも、地域の衛生環境を改善するためのプロジェクト活動（[アラバマ州ラウンズ郡](#)への支援など）や、日本の学校におけるSDGsに関する啓発活動にも取り組んでいます。また、[ユニセフ](#)、[USAID](#)、[Sanitation and Water for All](#)、[Toilet Board Coalition](#)、[IAPMO/IWISH](#)など多くの国際機関と連携し、強固な衛生経済の確立に向けて、環境整備を進めるための政策提言、地域での資金調達、基準作りや規制面などに関して、LIXILの強みを活かしたアドボカシー活動を展開しています。例えば、LIXILとユニセフの価値共有型パートナーシップである「MAKE A SPLASH!」は、ユニセフのガイドラインとアプローチに基づいて2023年から間接的なインパクトについても追跡を始めました。「[MAKE A SPLASH!](#)」⁷を通じて、2023年には計460万人への間接的なインパクトを創出したことが報告されています。具体的には、地域の保健ボランティアの能力向上や、低所得者向けの少額融資の促進をはじめ、活動強化に向けたシステムを通じて、220万人が基本的な衛生設備が利用できるようになり、240万人が基本的な手洗い設備を利用できるようになりました。

このような間接的なインパクトについては、当社が掲げる1億人の目標達成に向けた進捗として追跡調査や報告は行っていませんが、これらの追加的な活動を通じて、衛生設備へのアクセス向上に貢献することを目指しています。

お問い合わせ先：

LIXILのインパクト算定・報告ガイドラインおよび進捗状況に関するご質問やご不明な点につきましては、pr_global@lixil.comまでお問い合わせください。

なお、本ガイドラインは英語版が正本で、日本語版は参考訳として作成されています。

⁷ UNICEF and LIXIL Make a Splash! Progress Overview:
<https://www.lixil.com/jp/makeasplash/pdf/Progress%20Report%20Overview%202022-2023.pdf>